

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。



フォロワー1・5万人の戦略

1・5万人のフォロワーを持つ町工場のSNS戦略とは。当商工会議所・工業部会は、6月30日の午後1時半～同3時まで市立産業会館で経営セミナー「SNSを活用することで広がるビジネスチャンス」を開催する。航空機部品製造、コバヤシ精密工業（南区大野台）の小林昌純社長らが登壇。中小製造業におけるSNS活用と可能性について学ぶ。参加無料。

注目されるSNS活用 町工場の成功例は

コバヤシ精密工業

コロナ禍で対面営業が制限される中、同社はSNSをフル活用した独自の営業で成果を出している。専任の広報担当者を置きながら、社内情報などをツイッターにより頻繁に発信している。

切なのは「分母」を増やすことです」と小林昌純社長。SNSでその分母となるのは「フォロワー数」で、同社は拡散性があるツイッターに着目し

た。フォロワーを増やすための企画も打つ。例えば、フォロワーしてリツイートすると、アルミを削り出し「チョコレート」に見立てたオブジェをプレゼントするキャンペーンなどを定期的に展開。その一方で「会社のことあまり書きませせん」（小林社長）というメルマガも定期発信している。

SNSと同時並行するのが、設計者を対象にしたセミナー。機械加工の材料や工具の解説から始まり、設計者が知ってお

く役に立つ「表面処理」「加工方法」「公差」についての情報を、小林社長が90分間、スライド80枚におよぶ内容で話している。SNS経由で、これまで接点がなかった企業とのつながりも生まれたという。

今回の講演ではこうしたノウハウを小林社長と広報担当者が伝授。販路拡大の参考にしてもらおう。

申し込み、問い合わせは産業振興課（042・753・8136）の工業部会担当まで。

「水洗い」できるキーボード



ビット・トレード・ワン（中央区上溝）は、ウイズコロナ時代に対応した新型キーボードを開発した。写真。防水・防塵規格「IP68」に準拠。水で丸ごと洗えるため、使用後にアルコールや除菌液で繰り返し拭いても問題なく使用できる。新型コロナウイルス対策を徹底する医療機関のほか、防じんが求められる工場や建設現場での使用を見込む。病院などでは、キーボードの使用後にアルコールで拭いて除菌することがある。

一方、工事現場や工場では、油や粉じんが飛びやすい環境下でパソコンを使う場面もある。同製品は「過酷な環境での使用も想定して開発しました」（阿部行成社長）とし、キーボード基板に専用設計を施すとともに、表面は弾力性があるシリコン素材を真空状態で覆った。

これにより、水没中でも稼働する防水性や防じん性を実現。マイナス30度～プラス60度まで耐えられるという。キーボードはマウス一体型。すべてのキーに対し、夜間でも使えるバックライトを搭載した。

価格は1万7380円。直販や代理店経由で年間300台の販売を見込む。

高い耐水性能も実現した

経営者の仕事とは

工業副部長コラム



今回は経営者の仕事について話します。基本は「ヒト・モノ・カネ・情報」です。まず「人」の採用についてお話し

情報分析には「教養」高めて

できること具体的な経験を順序立てて話せること。仕事を熱く取り組んだ経験を聞くこと（学生の場合は生活体験の話です）。などを見極めるのがよいと感じます。それほど完璧な採用というのはありません。採用してから育てるしかありません。次に「モノ」です。工場、設備、物で重要なものは「タイミング」です。人が育つてなければ稼働できません。また、市場がまだ小さいと販売には苦労します。逆に大きくなった時は、量こそ出ますが、利益は少ないです。「カネ」は銀行です。日頃から良好な関係を築くことが大切です。金利が高いか安いかだけで銀行を選んではだめです。親身に相談に乗ってくれるか。融資も補助金も使いたいと話した時も、一生懸命サポートしてもらえないかがポイントです。

そして経営者が積極的に会社の中を見せて、説明することが肝要です。最後に「情報」についてです。情報は1方向だけで見ると判断すべきではありません。最低3方面から見ると心掛けてください。同じ情報であっても三つの視点で分析する必要があります。そのため「教養」が不可欠です。緻密な情報があっても理解できなければ何の意味もないからです。

（湘南デザインCEO / 公認心理師・松岡康彦）



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会